

広島空港

【実施主体:個社】

広島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航引き上げ交渉を実施。	
		総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の引き上げを実施。R7年度契約料の見直し検討に着手。	
		検査会社への委託料の見直し	本社にて、国内定期航空保安協議会を通じて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の引き上げを実施。R7年度契約料の引き上げを実施するとともに処遇改善状況を確認。	
		委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先との契約金額に値上げを反映し実施済み。(継続)	
		受託料の引き上げ	受託料の引き上げ	R5.処遇改善の実施(賃上げ9,400円、通勤費・住宅手当の引き上げ) R6.ベースアップ10,000円、R5期末手当支給、年未年始手当の期間及び金額増
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化(キャンセル料の設定 等)	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項やキャンセル料条項の導入を検討・実施中。	
		検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。検査場のレーン数に応じ総括責任者の配置も支払い対象化。	
		委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。(継続)	
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
		搭載部門に女性職員の採用	4年ぶりに搭載部門に女性職員を採用した。4年前は定着しなかった。	現在、女性職員3名。定着化を図っている。採用試験も、女性希望者が増加傾向。
		女性職員採用準備	女性職員用の更衣室確保のため、事務所の改修工事を実施	女子更衣室改修工事が完了し受け入れ態勢が整った。女性職員採用強化中。

【実施主体:個社】

広島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
		委託先社員数や労働時間の定点的な情報収集	委託先社員の負担を含め、定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。負担の集中が見られる場合には適切な対応を図っている。(継続)	チャーター便、新規受託の際には負荷が高止まりしないようハンドリング、運航時間を工夫することで抑止に努めている
		職員数、残業時間等を委託元と共有	採用機会の増加、残業減少に対する取り組み等	残業は順調に減少している。 R6は、国際線新規受託があり、増加した月もある。
		事務作業の軽減	事務作業の軽減のため、現状(作成書類、報告方法等)について全て確認し、各提出書類の要否の判断や簡素化、複数の書類の1本化等を実施し効率化を図った。	事務作業126件中38件について処理方法の変更や廃止を行った。改善した事務作業について作成や処理にかかる時間は1、2分～30分と様々だが、その時間を休憩や次の時間の準備に充てることができた。同時にストレス軽減にもつながった。
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	職員数、残業時間等を委託元と共有	残業、有休消化率等を階層別に集計	有休消化についても順調。
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用)等)	通年、中途採用の実施	応募者1人でも採用試験の実施	広島県外出身者の採用数増。 ほぼ毎月、採用試験を実施している。
		広島空港合同企業説明会へ参加	採用については、本社が強化を行っているが、現地で出来ることとして、広島国際空港様様の合同企業説明会に参加し、採用強化を図っている。	広島空港合同企業説明会より、2024年4月1名 広島空港での採用が決定した。
			採用については、本社が強化を行っているが、現地で出来ることとして、昨年に続き広島国際空港様様の合同企業説明会に参加し、採用強化を図っている。	採用には至っていないが航空燃料業界及び弊社を知って頂ける良い機会であった。
	総代理店合同企業説明会の実施	総代理店各社と人財課題についての意見交換を実施し、オンラインでの合同企業説明会を実施。		
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫(実践技術に特化した訓練等)			

【実施主体:個社】

広島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	他空港からの支援者、出向者の受け入れ	出向者をR5.2,3,4月より各月1名、1年間の出向受け入れ	R5年度は3名の出向者を受け入れた。 R6年度は1名の出向者を受け入れた。 R7年度の他空港からの出向者の受け入れはなし。
		ワンマン用脚立の導入	A321の作業は2人で実施していたが、ワンマン用の脚立を導入することで、人員繰りの効率化を図った。(現在、国内線のみ)	ワンマン化にすることで、1人別の作業にアサインすることができ効率化が図れている。また、課題であった国際線用の脚立を2台購入した。(2024年3月配備)
		給油車両の老朽化	給油車の状況を見ながら、年単位で入れ替えを計画している。	課題 給油車の入れ替えを計画しているが、価格の高騰や納期の遅れにより給油車の老朽化に対して入れ替えが進まない。
【中期】	長期に誇りをもって勤められるキャリアパスの整備			
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。	
		カスタマーハラスメント対策の推進	複数事業者による共同で「カスタマーハラスメントに対する方針」を策定。	
		ポケットークの配備	旅客、搭載、オペレーション部門にポケットークを配備。	旅客部門において、外国人のお客様に活用できている。
【中期】	特定技能制度の積極的な活用			
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現	多様な働き方の推進	短時間労働・マルチタスク導入に向けた事例紹介およびフォロー	

【実施主体: 個社】

広島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現	自治体や空港ビルとの連携	保安検査、給油、CIQなどの当社受託領域以外の調整状況についても必要に応じ確認しつつ受託準備を実施。	
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し(保安検査における長い拘束時間の見直し 等)	特定業務に対する委託費構造改革	二次委託の多い特定業務に対する委託費構造改革に着手。	

【実施主体:空港会社等】

広島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	空港内の労働環境の改善	オフィスおかん導入	シフト勤務で不規則になりがちな食生活を支援することを目的に、空港内事業者(グラハン各社・保安検査員など)が主に利用する従業員休憩室に置き型社食「オフィスおかん」を設置。栄養面を考慮された食品を、1品100円で提供する。	従業員内での認知が高まり、利用者は順調に増加している。開始時は、1ヶ月200個の納品数としていたが、ニーズの高まりを受け、R7.1より1ヶ月400個に増量し、引き続き多くの従業員に利用されている。
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動(空港短期の合同ツ説明会等)	広島空港合同企業研究・見学会の実施	空港会社が主体となつて行う、空港全体の合同企業研究・見学会を定期的実施している。グラハン会社・保安検査会社など合計5社が参加し、具体的な仕事内容の紹介や現場見学などを盛り込んだプログラム。	来場者25名のうち、21名が選考希望。各事業者ごとに採用選考を進め、複数名の採用につながった。
		広島空港内の求人をもとめて掲載した『広島空港採用サイト』を展開	2022年4月にリリースした「広島空港採用サイト」の活用。グラハン支援の一環として、空港事業者と協力し、採用情報を随時更新している。	グラハン支援の一環としての採用情報掲載を継続中。各社、同サイト経由での応募者の採用成功に至っている。
		おしごと相談会	「おしごとミュージアム」にて求職者の個別相談を月1回程度開催。空港で仕事をしたいと考えているが、応募まで至らなかった方への一押しに繋がっている。	昨年の相談会延べ人数は約30名採用実績も出ているため、継続的に実施を検討
			「おしごとミュージアム」にて求職者の個別相談を3カ月連続開催。完全予約制で、	延べ20名の相談対応を実施。見学希望者に関しては、その場でグラハン会社と連携するなど臨機応変に対応し、複数名の採用につながった。
		学内説明会	大学、専門学校など、25年新卒学生を対象にした学内企業説明会に広島空港仕事紹介として参加	学校に訪問し、参加した学生が広島空港イベントにも参加
			26年新卒学生を対象にした業界研究セミナーなどに広島空港仕事紹介として参加(11月・12月・R7年2月・3月*予定)	大学主催の業界研究セミナーに積極的に参加し、広島空港(空港事業者各社)の仕事周知を行った。広島空港で実施する、合同企業研究・見学会の案内にもつなげることができた。
大学 空港見学ツアー開催	『1日で知れる!学べる!空港の仕事』を開催。空港仕事紹介からターミナル見学、機内食試食などを実施	24名の学生が参加		
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活動推進	広島空港保安検査員コンテストの実施	広島空港において保安検査業務を実施している警備会社2社から5名1組の計9チーム(45名)が参加し、模擬旅客に対する保安検査について、実技審査を実施した。	保安検査員のモチベーション及び技術向上が期待されるほか、報道機関による取材・報道により検査業務の認知向上の効果が期待される。

【実施主体:空港会社等】

広島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進			
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進(「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等)			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入	先進機器の導入	2025年度に国内線保安検査場へスマートレーン2基導入に向けて航空会社と協議中。	スマートレーンの導入によりファストトラベルの推進、旅客の利便性向上、旅客の利便性向上、保安検査員の負担軽減(少人数化等)に繋がる。
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体:地方自治体】

広島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化(人員体制等の正確な現状把握 等)	特に人材不足の状況にあるグラハン会社と頻度の高いコミュニケーション	国補助への申請に係る人員体制の状況確認や、国補助に頼らない体制構築について取組や県にできることのヒアリング等を実施	
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施			
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局(観光、産業振興 等)と連携した支援の実施			
【短期】	空港WGの活用推進			
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討(空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等)			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備	多文化共生の地域づくり支援の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人が地域と繋がりを持ちながら、生活に必要な情報を共有できる仕組みづくり</li> <li>・地域日本語教室の拡充</li> <li>・外国人専門相談窓口の運営</li> <li>・外国人への情報提供の充実</li> </ul>	
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致(交通部局と観光部局との緊密な連携)			

【実施主体:地方自治体】

広島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実			

【実施主体:国】

広島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	各空港におけるベストプラクティスの横展開(事例収集・整理等)	空港WG内での共有	国交省HPにて公表されたベストプラクティスを空港WG内で共有。	
【短期】	地域の意欲的な取組への積極的な協力(空港説明会への参画等)	空港内事業者(空港運営会社、グランドハンドリング会社、保安検査会社、航空給油会社等)の仕事説明会等における航空保安業務の紹介	空港運営会社と連携して、広島空港合同企業説明見学会(7/7,9/21開催)において、航空管制官及び航空管制技術官の業務紹介等の資料を配付。空港内事業者の従業員に対する見学会を実施。	
		「管制官お仕事紹介」の実施	空港運営会社と連携して、空港機能活性化等を通して地域創生を図るイベント(7/16,10/2開催)において、小学生を対象に管制官の業務紹介を実施。	
		空の日イベントに合わせた空港業務の紹介・情報発信	「ひろしま空の日2024」(10/6開催)において、見学会を行い、航空管制官及び航空管制技術官の業務を紹介。見学会を空港運営会社が行うイベントと同日に行って回遊性を高め、参加者に空港全体を知ってもらう機会を提供。	
		空港でのお仕事を紹介する常設展示等における情報発信	空港運営会社と連携して、旅客ターミナルビル内にある空港での仕事を紹介する常設展示施設に、航空保安業務を紹介するリーフレットを配架。周辺市と連携して、同リーフレットを市役所に配架。	
【短期】	生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援(先進機器の整備補助等)	空港WGにおいて、取組支援の方策を検討	空港WG事務局から提案のあった広島空港業務体制強化事業計画における各事業を検討し、生産性向上等に資するものについて積極的に賛同。	
【短期】	各主体による取組の重要性の発信	ありがとうポスターの周知及び掲示	公表された「持続的な発展に向けた空港業務に係る取組事例集」及び「ありがとうポスター」について、取組の目的を職員に共有。また、「ありがとう」ポスターを庁舎内に掲示。	
		「空港業務の持続的な発展に向けたビジョン」の周知	広島空港利用者利便向上協議会(6/3開催)において、国、地方自治体、空港運営会社、航空会社、商工会議所等の幹事会メンバーと問題意識及び取組の重要性を共有。	
【短期】	空港WGの活用推進	広島空港グラハンWG等会議体の活用	関係各社が抱える課題の共有及び対策検討のため、広島空港グラハンWG等の会議体の活用について、認識を一致。「持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」の開催結果について、航空局HP公表された資料をもとに空港WG内へ共有。	

## 【実施主体:国】

広島空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【中期】	空港DXの導入促進に向けた実証実験	他空港の導入事例等の横展開	空港WGにおいて国交省HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を実施。	
【中期】	更なる支援措置等の検討(人材確保・育成、業務効率化、GX/DX 等)			
【長期】	先進技術等の開発・実証、更なる活用の推進	空港WG構成員への情報提供	「第10回持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」の開催結果及び「空港業務DXの推進」の資料について、国交省HP公表された資料をもとに空港WG内へ共有。 今後は、国交省HPにて公表されるベストプラクティスを空港WG内で共有する。 また、関係者と連携した取組を検討している。	
【長期】	業界ルール整備を前提とした、専門学校との連携強化や共同訓練の推進	空港WG構成員への情報共有	「第9回持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」において、「空港業務における現状と取組状況」中、「空港グランドハンドリングにおける特定技能外国人の受入れ」が出されたため、空港WG内へ共有を行った。 また、関係者と連携した取組を検討している。	
【長期】	処遇改善・業務効率化等に必要な保安関係料金の適正水準のあり方の検討	空港WG構成員への情報共有	「第10回持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」において、「空港における旅客の保安検査の実施主体の円滑な移行に向けた実務者検討会の開催状況(報告)」が出されたため、空港WG内へ共有を行った。 また、関係者と連携した取組を検討している。	
【長期】	必要に応じた制度的見直し	空港WG構成員への情報共有	「第10回持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」において、「制度的措置の方向性(報告)」が出されたため、空港WG内へ共有を行った。 また、関係者と連携した取組を検討している。	
【長期】	空港に関する基礎的データの収集・整理(職員数、年齢構成、年代別年収、離職率 等)	空港WG構成員への情報共有	第9,10回 持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会において、「空港業務における現状と取組状況」が出されたため、空港WG内へ共有を行った。 また、関係者と連携した取組を検討している。	